

# 3・2・8号線計画を 検証する

No.1「交通量編」

東京都が建設しようとしている小平都市計画道路3・2・8号府中所沢線は、約220戸を立ち退かせ、小平中央公園横の雑木林の約半分を消失させ、玉川上水を36m幅で分断するなどの問題点を抱えています。建設費用は約200億円です。

東京都のホームページによると、建設しようとする第一の理由は、「交通の円滑化」と周辺の「渋滞緩和」。つまり交通需要です。でも、近年、人口の減少や高齢化、経済状況の変化、若者の車離れなどで、交通需要は減っているのでは？

## 全国の交通量は減少傾向 東村山～町田の6市間だけ本当に増加？

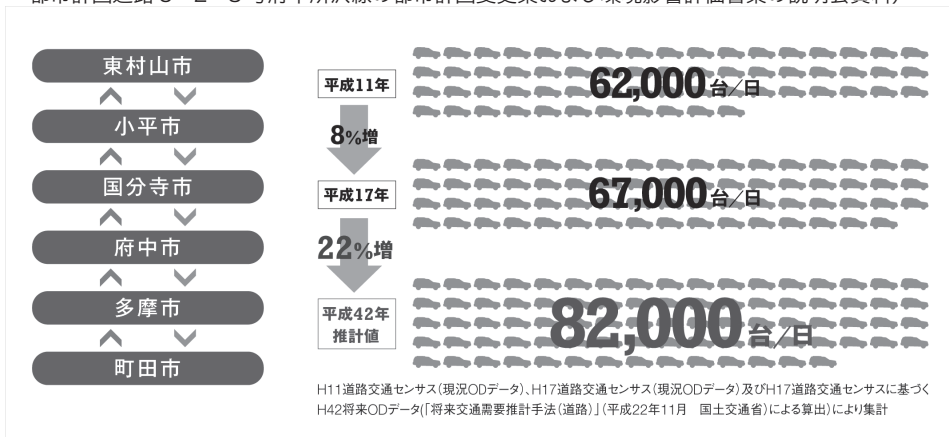
東京都は、3・2・8号府中所沢・鎌倉街道線を「多摩南北主要5路線」の一つと位置付けています。

図表1は、府中所沢・鎌倉街道線が通過する6市間の交通量が、平成17年から42年までに22%増加するという予測を示しています。

本当にそんなに増加するのでしょうか？図表2は、国土交通省が発表している全国と関東臨海部（埼玉、

千葉、東京、神奈川）の自動車交通量の変化を示したものです。全国の自動車交通量は2003年をピークに減り始め、関東臨海部の交通量もすでに減少していることがわかります。それなのに、町田から東村山の6市間の交通量だけが、今後22%も増加するというのでしょうか？

図表1「南北都市間の車のうごき」（「道路の整備効果」東京都発行、2011年10月、小平都市計画道路3・2・8号府中所沢線の都市計画変更案および環境影響評価書案の説明会資料）



図表2 全国と関東臨海部の自動車走行台キロ

